

久万高原町  
議会だより

第8号

2016年  
2月



父二峰小学校での林研クラブ指導によるなめこ植菌

主な内容

議長年頭挨拶	2	産業建設常任委員会	6~7
平成27年12月定例議会	3	一般質問	8~14
総務文教厚生常任委員会	4~5		

# 「思い」を「発信」して「行動」に



久万高原町議会議長 高橋 末廣

皆さま、新年明けましておめでとうございます。

日頃は議会に対し、御理解と御協力をいただき、誠にありがとうございます。今後とも何とぞよろしくお願いいたします。

今年春暖冬とのことで、気候的には穏やかな年明けとなりましたが、早々に北朝鮮の水爆と恐れられる実験やテロなど、物騒なニュースが相次ぎ、国内では原油安や中国景気の先行き不安、さらに円高等の影響で、株価が戦後初めて大発会から6日連続で下落するなど、国際情勢が日本の政治・経済に大きな影響を与えました。

他にも、地球環境では温暖化による不安定な気候、政治外交的にはアメリカの影響力低下による中国・ロシアが覇権争い、世界に広がるISやアルカイダのテロや紛

争、それに起因する難民問題でゆらぐEUの結束等々、複雑に絡んだ大きな問題が山積しています。

それらは決して他人事ではなく、今やあらゆるもののグローバル化により国際政治外交の影響が、我が久万高原町にまで及ぶ時代になつてきました。TPPなどはまさにその典型であろうと思われ、今後中山間地農業に与える影響が大変気になるところです。

現在、国は「地方創生」「一億総参加社会」「女性の活躍」などの政策を、次々と打ち上げていますが、各自自治体に託された「総合戦略」立案にみられるように、それぞれの自治体や住民の取組みにより、市町村への交付金は変わってきます。地方の自主性を重視さ

れることはよしとしても、努力次第で自治体（住民）に格差が生まれてくるのも現実です。しかも、時代の流れは急です。安穩（あんのん）としていた暇（いとま）はありません。過去のように画一的なものではなく、久万高原町の特徴を生かした独自性のあるものが求められています。町内周辺部の隅々まで配慮した「総合戦略」の早期策定に期待したいものです。

本町を取り巻く課題としては、基幹産業である農林業の復興は当然のこと、二つの道の駅や町内に点在する自然・文化を活かした観光産業の振興、流動人口や移住定住（I、Uターン）人口の増加対策、高齢化に対応した医療・福祉の充実、少子化対策としての上浮穴高校の存続を含めた教育問題、さらには異常気象や地震に対する防災・減災対策等々きりがあります。

そういった状況下にあつて、その流れに追随し、さらにリードしていくためには、自らの自己研さんとお互いの切磋琢磨、さらには得た目標に一致団結しての取組みが大切だと思われまます。

久万高原町のおかれている現状や、生かすべき長所を整理し、模範となる他の自治体や地域の情報を研究・分析する為に視察を行い、本町に合った活性化事業の立案をし、議会からも積極的に発信・提案するなど、具体的な行動が求められています。つまり、今こそ議員誰もが「思い」を持ち、それを「発信」して、力を合わせて「行動」することが重要と確信しています。

いかなる時代になろうとも、地域の活性化には住民の皆さまの参加が不可欠です。そのためには、住民の皆さまの御意見を基調とすることが重要と存じますので、今後とも御指導いただきますようお願い申し上げます。

なお、今年度は「参議院議員選挙」や「町長・町議会議員補欠選挙」なども予定されております。投票所へ足を運んでいただきますようお願いいたします。

終わりになりますが、本年が久万高原町にとって、また皆さま各々にとりまして、良き年となりますようお祈りして御挨拶いたします。

平成27年

# 12月定例議会

12月8日～12月14日

議案	条例制定	看護師奨学金貸付条例の制定 他……………	9件
	補正予算	平成27年度一般会計補正予算 他……………	6件
	報告	決算特別委員会議案審査結果 他……………	3件
	その他	新町建設計画の変更について	
発議	認知症への取り組みの充実強化に関する意見書 他……………		2件

## 平成27年12月補正後予算額

総 額	157億2053万円 (3億2231万円増)
一般会計	96億611万円 (2億3837万円増)
特別会計	48億1703万円 (8393万円増)
事業会計	12億9738万円 (増減0)

## 平成27年12月の主な補正

<b>歳入</b>	国庫支出金	1318万円
	県支出金	1543万円 減額
	繰入金	1030万円 国民宿舎基金から
	町債	560万円 災害復旧事業債他増額
	繰越金	2億1824万円
<b>歳出</b>	情報系システム機器等の更改業務委託料	1728万円
	し尿処理施設延命化計画作成業務委託料	861万円
	基盤整備事業、棚田保全整備事業費	減額 4778万円
	県営農地整備事業	減額 750万円
	町道・水路等修繕 (17箇所)	1055万円
	林道舗装補修 (槇ノ川線・カナグイ線)	811万円
	災害復旧費 (林道・町道・河川)	2889万円
	パン工房臨時雇賃金及び賄材料費	461万円
	特別会計繰出金 (国保・簡易水道)	3547万円

# 総務文教厚生常任委員会審査案件一覧

種類・番号	概要	委員会採決	
議案第80号	地方自治法第96条第2項の規定による議会の議決すべき事件を定める条例の制定について	町行政の運営を図るための総合計画における基本構想の策定は、議会の議決すべき事件と規程する条例の制定	可決 全員一致
議案第82号	久万高原町看護師奨学金貸付条例の制定について	町立病院の看護師不足を解消するため奨学金制度をつくり、看護師の養成と確保、地域医療の維持と向上を図るための条例の制定月額7万円（返還の猶予・免除あり）	可決 全員一致
議案第83号	久万高原町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の制定について	平成28年1月から利用が開始される個人番号、いわゆるマイナンバーに関する法律の施行に伴う町条例等の制定、改正に関連する3議案	可決 全員一致
議案第84号	久万高原町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について		可決 全員一致
議案第85号	久万高原町個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について		可決 全員一致
議案第86号	久万高原町職員の再任用に関する条例の一部を改正する条例の制定について	厚生年金法等の改正に伴う厚生年金の支給に関する町条例の改正	可決 全員一致
議案第87号	久万高原町非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について		可決 全員一致
議案第88号	久万高原町税条例の一部を改正する条例の制定について	マイナンバーに関する法律の公布に伴う町条例の改正	可決 全員一致
議案第89号	平成27年度一般会計補正予算 (第3号)		可決 全員一致
議案第90号	平成27年度国民健康保険特別会計補正予算 (第2号)	保険財政共同安定化事業拠出金の増額等 3,123万9千円	可決 全員一致
議案第91号	平成27年度国民健康保険診療所特別会計補正予算 (第1号)	嘱託医給料及び共済組合負担金の増額等 173万1千円	可決 全員一致
議案第92号	平成27年度介護保険事業特別会計補正予算 (第2号)	各給付負担金等の増減、国庫負担金等の返還金の増額 2,326万9千円増	可決 全員一致
議案第95号	久万町・面河村・美川村・柳谷村新町建設計画の変更について	合併に伴い県に提出の計画書の中の名称・事業内容・事業費・計画等の変更について	可決 全員一致

## 総務文教厚生常任委員会

### 審議

**議案第82号 久万高原町看護師奨励金貸付条例の制定について**

### 中川委員

看護師不足や透析関係と病院運営にはいろんな課題がある。一般の方がされている委員さんもいる病院運営委員会の中で審議して事業を進めていただきたい。

### 和田病院事務局長

6月運営委員会でこの件について話はしたが、その後、委員会を開かず、準備が出来ないまま議会に提出した。今後は配慮したい。

### 田村委員

条例の中で、貸付金の一括返還があるが、分割は出来ないのか。

### 和田病院事務局長

町立病院に勤務する事が第一の目的であるので厳しく規程している。

### 上岡委員

この制度を利用して採用する看護師と、そうでない看護師、就業体制は同一で採用するのか。

### 和田病院事務局長

差はつけない。

**議案第83号 久万高原町行政手続における特定の個人を認識するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定について**

### 瀧野委員

個人情報漏れる事が心配だ。セキュリティ対策はどうか。

### 稲田総務課長

国もいろいろ対策している。情報漏洩対策の方針として、システムの中での対策強化、職員会でも研修会をして指示している。

### 瀧野委員

きちんとした対策を検討いただきたい。

**中川委員**

番号通知カードが届いたが、住民はどうしたら良いのかよくわからない。わかりやすい説明会などは検討しているか。

**佐藤住民課長**

希望する自治会には担当職員が説明する。

**瀧野委員**

詐欺目当ての電話等の対策として、これだけはだめだというようになわかりやすい大きな文字のパンフレットをお願いしたい。

**長山委員**

高齢者等の対策として自治会説明会で写真を撮る対応はできないか。

**佐藤住民課長**

写真の必要性等、国の動向等みで対応したい。

**高野町長**

高齢化の進む町のなかでの対応を指示したい。

議案第89号 平成27年度久万高原町一般会計補正予算(第3号)について

**歳入**

**瀧野委員**

国民宿舍古岩屋荘の修繕は、国民宿舍基金を財源としているが、金額は。

**稲田総務課長**

今回1千万円使用、残額1324万円。

**瀧野委員**

今年は国勢調査があった。それにより今後の交付税も変わってくると思われる。早い段階で見直しが必要だ。

**稲田総務課長**

地方交付税50億9千万円の見込み。1億8千万円の減。今後の人口動静をみて予算をたてる。

**瀧野委員**

年間の起債償還(返済)額が減っていくのなら、新規の起債(借入)額も減らすべきではないか。

**稲田総務課長**

給食センター、行政防災無線、久万幼稚園など生活に直結する事業もあり大幅な削減は難しい。

**瀧野委員**

高齢化率46.5%の当町において10年後残る起債残高110億円は、高い経常経費率と併せて重要な案件である。住民税の引き上げにつながる恐れもある。その点を考えて財政をすすめてほしい。

**高野町長**

事業ごとに早急にやらなくてはならないもの、早くやった方がよいもの、交付税が減少していくなかでの将来的な事業展開を考えて起債の方法も皆さんと協議していきたい。

**歳出**

**瀧野委員**

介護保険において、今後の高齢者対策についてどう考えているか。

**重見保健福祉課長**

介護保険制度から総合事業に変わっても住民に負担のかからない施策を心掛けたい。

**瀧野委員**

上高の存続問題については、即効性のある魅力アップが必要だ。教育長を含めて委員会を立ち上げて対応すべきでは。

**日野教育長**

上校問題は本会議でも取り上げられた喫緊の課題である。検討委員会を立ち上げて対応したい。

**高野町長**

2議員からの一般質問もあった。大きな課題として議会も町民も認識している。補助、寮や下宿、様々な問題がある。検討委員会も含めて教育委員会と学校と取組をした。

# 産業建設常任委員会審査案件一覧

種類・番号	概要	委員会採決	
議案第81号	久万高原町簡易水道事業の設置等に関する条例の制定について	特別会計から地方公営企業会計への移行に伴う条例の制定	可決 全員一致
議案第89号	平成27年度一般会計補正予算(第3号)		可決 全員一致
議案第93号	平成27年度簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)	水道管移転工事・老朽化に伴う改良工事、消費税の増額 2,471万8千円	可決 全員一致
議案第94号	平成27年度公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	業務計画策定委託料648万円の増、機械器具購入費350万円の減	可決 全員一致

## 産業建設常任委員会

### 審議

議案第89号 平成27年度久万高原町一般会計補正予算(第3号)について

#### 西山委員

パン工房は何人いて平均何時間勤務か。

#### 中川企画観光課長

5時間から8時間、9名でローテーション。

#### 西山委員

レストランの若い方が2名退職したと聞く。募集チラシでは5時間程度の労働時間となっている。本職として5時間では応募がないのでは。パン工房と勤務差があることに不満があるのではないか。

#### 中川企画観光課長

面談し時間帯が合えば雇用している。退職の原因は赤字。8時間の方の退職。時間帯の不満は無い。

#### 西山委員

道の駅事業は、一般会計で運営

しているが、担当課としても特別会計での運営がベターではないか。

#### 中川企画観光課長

担当課としても、分かりにくいところもあるが、新年度も一般会計での運営となる。

#### 玉井委員

国民宿舎の修繕の中の浴槽の亀裂の原因はなにか。地盤の狂いではないのか。

#### 中川企画観光課長

亀裂の原因は老朽化。地盤等に異常は無く表面の改修である。

#### 中野委員

粗大ゴミの収集について。従来の方法にしてほしいという声もあるが検討していただきたい。

#### 浮田環境整備課長

現在の方法の更なる周知徹底をする。委員の意見についても検討する。

#### 中野委員

農業基盤整備、棚田地区整備事業は二分の一の採択だが、全国的な傾向なのか、愛媛県だけなのか、それとも当町だけなのか。

#### 高橋建設課長

県下すべて二分の一の交付決定となっている。全国的に農業農村基盤整備事業が減っている。

#### 西山委員

由良野の災害改良に時間がかかり過ぎている。近くに学校もあるので急いでほしい。

#### 高橋建設課長

設計を早期にして、予算は確保しているのですぐに工事したい。

#### その他

#### 中野委員

都市再生整備計画の補助金を受ける事になっているが、まちなか交流館等、目的など変更しているが大丈夫なのか。

#### 高橋建設課長

内容の変更については、国、県の承認を受けて実施している。

#### 西山委員

指定管理施設の修繕について、予算をつけるのに順番があるのか。

#### 稲田総務課長

現場で要望があった時に予算化する。

**西山委員**

地元の体育館の雨漏りの修繕は待たされている。一方、国民宿舎の修繕は今回提案されている。営業的に緊急性があったのか。一方、体育館は緊急でないのだからまたされているのか、疑問に思ったので質問した。

**中野委員**

森林組合が、職員の募集をしても応募が無いという。職員も減少しているというが、林業が大切な産業である当町において森林組合は大切なものだが、どのように把握しているか。

**菅森林林業課長**

活性化事業のほうで3、4人退社したので菅生事業所から部署異動して対応している。

**中野委員**

經理の面で、県の指導があつたときいているが。

**菅森林林業課長**

経営的にここ数年は良かったが今年度は非常に厳しい。指導については、毎年の監査ではないか。

**中野委員**

役場が直接の監督管理をすると

ころではないが、気を配っていたきたい。

**本会議 開会日 質疑**

**議案第80号 地方自治法第96条第2項の規定による議会の議決すべき事件を定める条例について**

**中野議員**

この条例によると、総合計画による基本構想の策定は、議会の議決すべき事件となつていますが、地方創生に係わる戦略等もそれにあたるのか。

**稲田総務課長**

総合戦略については、議決事項にはならないと解釈している。今後重要案件についてはその段階で審議していただく。

**中野議員**

総合計画の基本構想の策定については、早めになお且つ慎重に策定すべきだ。議決が必要なら、議会対応をよろしく願いたい。

**本会議 閉会日 質疑**

**議案第89号 平成27年度久万高原町一般会計補正予算(第3号)について**

**瀧野議員**

古岩屋荘の修繕費を基金から出しているが、この基金がなくなつたら修繕費等どうするのか。

**中川企画観光課長**

今後、他の物件についても補修関係出てくると思うが其の都度、管理運営委員会等々の意見等もらいながら進めていきたい。

**瀧野議員**

以前の指定管理者は、浄化槽の修理の際、半額を負担した。今回はそうではない。どういう考えで今回このお金を出すのか。業者によつたり、その時によつて違つているが。

**中川企画観光課長**

平成26年度に行つた指定管理等町有施設管理検討委員会で制定された基本協定書により費用区分を決定した。

**表紙説明 第8号**



父二峰林研クラブ指導によるなめこの植菌の光景。父二峰小学校の生徒全員が参加しました。去年はひらただけでした。上手に育つた様で、皆、今年も収穫を楽しみにしています。

# 一般質問

## 上浮穴高校の存続に対する 施策を問う



玉井春鬼議員

**問** 寮の建築、中学校・高校一貫教育は考えられないか

**答** 高校の存続は寮問題など含め議会と相談し前向きに進めたい

高野町長

**問** 上浮穴高等学校は町内唯一の高校で、久万高原町の人材育成機関として、なくてはならない存在である。

しかし、少子化に伴う近年の志願者の減少により、存続が危ぶまれる状態となっている。本年度は、入学

準備金の新設や通学費補助率のアップなど、町の施策により再編成整備基準から外れたが、厳しい状況は変わらない。平成26年度の町内の中学校の上浮穴高校の進学状況は、久万中学校の57・1%に比べ、美川中学校では17・6%と久万中学校に比べ大きく下回っている。川下地区では交通の便が悪く、仕方なく町外の高校へ出て行っているとの話もある。上浮穴高校の存続には、優秀な生徒を育て、魅力を高め、町内外から志願される高校になることが不可欠である。そのためには、より多くの生徒の受け皿として、寮の建築を進めるべきと考えるが、町長の所見を伺いたい。

**答** 昨夜、上浮穴高校の振興対策会議があり、校長、教頭、教員、一般の方、議会からなる委員で意見交換した。高校を存続する上には、寮とか下宿とか、進めていかねばとの意見も出た。私もそう思っている。

町としても、通学費の70%補助、入学準備金の70%補助等行っている。また、議会も産業建設、総務文教厚生各常任委員会で、高校存続問題について、島根県と佐賀県で研修してきたと聞いている。

上浮穴高校の存続について、寮の

問題等も含めて今後、議会と相談しながら、前向きに進めていきたいと思っている。

高野町長



愛媛県立上浮穴高等学校

**問** 私たちは島根県隠岐郡海士町に視察に行った。島の高校は一校だけで、生徒数27名で当時、統合廃校が予想された。島の存続にかかわると、役場また住民が立ち上がり、現在は67名の2学級の学校になつていた。

何をしたかという点、保育所、小学校、中学校、高校と連帯教育する組織を立ち上げ、一貫した人間教育を目指したそうだ。高校生が中学生に出前講座を開いたりして、中学校

卒業後は、自分たちの町の高校へ行くのだと、盛り上がったそうだ。島は環境が良い、空気も良いという事で都会から奥さん方が旦那を職場に残し、子供連れで来て子供が増えたので、保育園を増築していた。今まで私たちは、いい部活をしたら子供が集まると思っていたが、高校は勉強の場であり、将来の選択肢の場でもあるので、昔あったような進学コース設置を考えたらと思う。そして、中学校、高校の一貫校が出来れば、助け合って部活等ができて、良い面があるので、一貫校も提案したいと思うので、意見を伺いたい。

**答** 県下には中高一貫高校が、三校あるが、中高の6年制の学校として成立している。

ただ、一般の公立高校と一般の公立中学校が一貫教育している例は、県下には無い。これは制度が伴うので、難しいと思う。

進学コースは、以前普通科が2クラス、3クラスあった時代にはあったと聞いているが、現在は普通科が1コースしかないのか、かつての進学コースの役割を普通科の中でやっているか、少人数ゆえに、個別指導を生かして、特に高い希望を持っている子の支援をしていけると考えている。

日野教育長



町分譲宅地の実績と施策は



中川武志議員

**問** 25年から販売を開始した分譲宅地ニュータウン

久万の販売実績と若者をこの町に留まらせる施策はいかがか。

**答** 22区画の内、現在7区画の契約が完了し建築

済みが3区画、建築中が2区画となっている。

高野町長

**問** この事業の目的は、町外から人口を増やすことであるが、

若者に定住してもらい定住販売から2年を経過した中で、問い合わせはあったが条件が合わず契約に至らないケース等の検証は出来ているか。その検証に基づき新たな展開を進める時期と考えるのがいかがか。

**答** 契約に至らなかった案件では、申込者の年齢超過や木材を使用しない住宅メーカーでの建築予定、町内在住者からの申込、同居者のいない方の申込等、販売条件に合致しないケースが多い。ただ現時点での販売条件の緩和や変更については契約済みの方との公平性を考え、今しばらく慎重に検討する。

高野町長

**問** 建築済みの3件に加え、2件の建築中の現場を見ると心強くも感じるが、現在の販売実績は想定内か。

**答** 想定内であり今後も販売促進対策として、新聞、住宅情報誌、テレビ等のメディアを利用した広告提供やモデルハウス来訪者への情報提供、林業まつりでの会場案内や定住モニターツアーを実施して販売促進に努める。

高野町長

**問** 契約に至らないケースの中には、木造住宅に限定している点がある。わが町の基幹産業である林業を守るためにも、町産材を利用し、町内建築業者が施工する住宅が最も望ましいが、事業の目的は町外から若者の定住を促進することであり、

応募してくる若者に条件を広げて可能性を拡大する検討をすべきと考えるのがいかがか。

**答** 林業は町の基幹産業であり久万材を利用してもらうことは条件となっている。町外から移住して子育てもしてくれる若者は大歓迎であるが、もう少し慎重に5年から3年を機に見直す時期もあると考える。

高野町長

**問** 数年前に町内在住者向けのアンケート調査をみても、家を建てるなら大手メーカーで建てたいという結果もでていた。町産材を使用し地元業者で施行すると上限100万円の補助金の制度も設けており、それ以外の方との区別化はできているわけだから、町外から移り住み人生で最も大きな買い物といわれる家の新築をこの町でしようとする若者たちに木造住宅という限定を省き、自由に選択できる条件の緩和は検討すべきと考える。

**答** また、現在この町で暮らす若者たちへの対策として、一定の所得がなければ入居できない特公賃住宅の空き部屋解消については、住宅法云々の法的縛りは理解するが、特区申請等も含めて関係機関へ働きかけ、周辺地域の空き住宅解消と若者への住宅提供への道を探っていただきたい。

**答** 現在の特公賃住宅の入居状況は久万地区において、空き室はない。その他の地区では54戸の内25戸が空き室となっており対策が必要と考える。特定公共賃貸住宅は建設当時、公営住宅の入居基準を超える中堅所得層を対象とした住宅であり、入居者の制限があるが、関係機関とも協議して対策を講じていきたい。

高橋建設課長

**問** 前向きな答弁と受け止めるが、出来ない、難しいということから一歩進んで取り組む住民に優しい町づくりは、町への愛着心と信頼に繋がると思い期待する。

分譲宅地ニュータウン久万



上浮穴高校存続の具体策は



田村昭子議員

問

上高存続への具体策を、町の補助金制度の積極的発信を

答

上浮穴高校の魅力向上、町内の中学校との連携強化・高校の長所実績を町内外へ広く発信する

日野教育長

問

先の玉井議員の一般質問と重複する部分があるかと思うが、急を要する問題なので、重ねて質問する。

全国的な少子化の中、久万高原町も児童生徒は激減の一途をたどっており、上浮穴高校の入学者の減少につながり、分校化や統廃合の危機に直面している。

議会においても、上浮穴高校の存続は重大かつ緊急を要する問題として、先進地視察を行うなど検証しているところだ。

町は教育振興補助等の取り組みをしているが、教育長として上浮穴高校の存続に向け、今後の方向性をどのように考えているか伺いたい。

答

少子化が進行する中、上浮穴高等学校の存続を図ることは緊急の課題であると考えられており、三つの視点で支援をしていく。

- 一、上浮穴高校の魅力を引き上げる。
- 二、町内の中学校と上浮穴高校との連携協力を進める。
- 三、上浮穴高校の長所や実績を広く町内外へアピールする。

以上を基本とし、「上浮穴高校振興対策協議会」を核として取り組んでいる。

日野教育長

問

上浮穴高校も魅力化に向け努力をされておられ、中高の連携を密にし、入学希望者増に向け努力している。

久万高原町も、ふるさと奨学金制度など各種補助金を出しているが、町民の話を聞きますと、よい取り組みも補助制度も知らない方が多いのに驚いた。もっと積極的に、町内外

にピーアール活動・広報活動が必要と考える。

答

久万高原町のホームページの上浮穴振興対策協議会の項目に、補助金の内容が出ている。

上浮穴高校のホームページも充実してきている。また、上高だよりも充実して、町内外の中学校へ配布している。

上浮穴高校へ体験入学するとか、プラスバンド部など中学生と高校生が一緒の場で学習する機会を増やして、上浮穴高校への理解を深めている。

日野教育長

問

2040年の久万高原町の推計人口が4299人と出ていたが、上浮穴高校がなくなると、それをはるかに超える人口減少につながるかと考える。

「上浮穴高校に入学したい」

「親としても入学させたい」

学校という魅力のある創生が急がれる。プロジェクトチームを立ち上げ、「これぞ上浮穴高校だ」というキラリと光るものを検討する。また、町内の幼・小・中・高の一貫教育によって学力向上や生きる力を育てる教育など、広い視野での検討も必要ではないかと考えるがどうか。

答

上浮穴高校振興対策協議会においても、先進地視察研修をするとか、高校生何名か海外研修に行かせ視野を広げ、生きる力を身に着ける研修をさせてはというような意見も出ている。

日野教育長



久万中・上浮穴高校生プラスバンド部

戦略的な林業行政改革を  
すべきではないか



日野明勅議員

問

行政が中心となり、林業行政改革を進めるべきではないか  
CLT製造工場建設はどうか。

答

6次産業化も含め、時代に即したものを追及していきたい

高野町長

CLT工場については、検討する必要があると考える

菅森林林業課長

問

林業行政の抜本的改革についてだが、久万高原町にとって最大の資源は森林である。県下トップの森林面積を誇るが、林業の産業化は遅々として、将来に向けた進展をしていない。いつまで原木出荷主体の林業形態が継続されるのか。高価格の加工材の需要は、現実には過疎化の進行に歯止めのかからない当町において、確かな産業の育成こそが打開策である。自治体としての森林組合単位で林業の方向性を図る時期は過ぎた。今こそ行政が中心となり、資金力、企画力、推進力を発揮した大胆な行動を起こし、町主体の産業をおこせば、必ず人は集まる。森林行政の改革こそが町が生き残る大前提である。町長の所見を伺いたい。

答

質問の要点は久万高原町に人材が残る政策という事と、将来を見据えた林業を守っていくという事だろうと思う。これまでの林業行政を振り返ると、平成3年に中予山岳流域林業活性化センターを設立、平成17年からは、久万林業活性化プロジェクトをスタートさせた。担い手づくりでは(株)いぶきの設立、木材加工基地として父野川事業所を整備、安定的に事業発注をおこない新たな林業事業所も立ち上がり林業従事者は

は確実に増加している。

このように、林業行政は、全国に先駆ける事業展開を図ってきたと自負しているが、現状に満足する事無く、6次産業化など、新たな取り組みも必要だと思っている。これからも問題を改善しながら時代に即したものを追及していきたいと考えている。

高野町長

問

近年、住宅メーカー等の事業者から、耐震性、耐久性に対して品質、性能の確かな木材製品の安定供給が求められている。今こそ需要に応える行政主導の大型生産工場が必要と思うがいかがか。

答

大型生産工場ということだが、父野川の工場が全国に先駆け、中型の工場として建設したもので、ここで6万から7万立方の原材料を使って、間柱、集成材等を加工販売している。ということでは父野川工場がそのような役目を果たしていると考えている。

菅森林林業課長

問

父野川工場、これは確かに一つの希望がある数字ではあるが、原木から製品へ、製品から流通へとという6次産業の流れを、本町で行政が中心となった形でつくっていくということを検討していただきたい

い。

また、平成25年度には、CLTの日本農林規格が制定されCLTによる木造建築の建設が期待されている。林野庁、国土交通省においては平成36年度までに、年間50万立方メートル程度のCLTの生産体制を構築しようとしている。本町としても国、県へ強力に働きかけ、行政中心のCLT生産体制を作り上げるべきと考えるがいかがか。

答

CLTについては、今、県の方でもかなり力をいれている。本町としての今の取り組みとしては、父野川工場でCLTに使うラミナの出荷には十分対応できると思うが、CLT製造工場については、20億とか30億の建設費用がかかるとも聞いている。今後、総合的に考えて検討することは必要であると考えている。

菅森林林業課長



久万広域森林組合父野川事業所加工工場

都市再生整備計画事業は



瀧野 志議員

問

まちなか交流館等都市再生整備計画について  
問う

答

都市再生整備事業は町内中心地を対象に総額4億7千万の5年計画

高野町長

問

都市再生整備事業は、総額で4億7千万、補助金の額は1億8千8百万で全体の40%補助で、事業年度は、平成27年から平成31年までとあるが間違いないか。

計画の目標は、道の駅「天空の郷さんさん」を中心とした町民と観光客の行き会う町づくりだが間違いないか。事業には、町道宮の前明神線の道路改修工事や、久万公園の整備等多くの事業が計画されている。

まちなか交流館、1億1千8百万は、計画では既存建物活用事業となっているが、実際には建物がなくなっている。その計画が変更されていないのはどうなのか。この事業の補助金は40%で、町負担は60%であり、率の悪い事業だと思うが、なぜこの事業を計画したのか伺いたい。

答

「天空の郷さんさん」周辺の都市再生整備計画事業は、地域の特性を活かした個性あふれる街づくりを実施し、地域住民の生活の向上と、地域の活性化を図る事を目的としている。

この計画は、道の駅を中心とした町民と観光客の関わりをテーマに、三つの目標を掲げている。

- ① 地域資源を活用し、賑わいのあ  
る町づくりで、町道宮の前・明  
神線整備、まちなか交流館整備、  
観光情報板の整備、道路の美装  
化、照明施設の設置などを計画  
している。
- ② 地域スポーツの活性化で、久万  
公園の整備やジョギング、サイ  
クリングロードの整備。
- ③ 暮らしにおける安心安全で快適  
な住みよい環境づくりで、ポ  
ケットパーク（菅生総門橋の下

の遊園地）整備や、イルミネー  
ションなどによる沿道の美装化  
計画。

計画の事業承認は、11名の委員に  
よる「久万高原町都市再生整備計画  
策定委員会」で審議頂き、平成26年  
度末に愛媛県・国土交通省に事業計  
画書を提出し、現在事業を進めてい  
る。

高野町長

問

事業内容その他答弁があった  
が、この事業を審議したのは、  
観光協会の会長が委員長で審議した  
ので、議会に説明したことにはなら  
ない。

都市計画再生事業は本来、土地  
画整備事業や街路事業、国道の付け  
替え事業とか大都市の駅前開発事業  
などの大きな事業だと思うが、旧久  
万町の一部が都市計画区域なのでこ  
の計画がされたのかと思う。

私が議長当時、まちなか交流館事  
業は、地域の産業を紹介したり、実  
演したりして町外の人と交流をする  
と聞いていたが、いつの間にかけし  
館に代わっている。昨年の9月議  
会で570万の予算計画書が出てい  
るが説明願いたい。

けし館を作る前に町長は、あそ

答

まちなか交流館の改築設計委  
託業務は570万で予算執行  
した。

これは、都市再生整備計画以外の  
570万で建物の設計を進めてきた  
ことになるが、既存建物の活用が難  
しくなり、国、県と協議し変更する  
こととなった。このことは整備計画  
の策定委員会に5月29日、内容説明  
し、現在事業を進めている。

高橋建設課長

答

店の問題は、当初お茂ご酒屋  
さんがひなまつりに協力をし、  
そこで何かしたいという事で、蔵の  
中のタンクを出すのに沼田さん、大  
野住建さんと私が機械で出した経緯  
がある。

ところが、非常に家が傷んでおり、  
解体しなくてはならない状態なので  
お茂ご酒屋はようしないという事  
になり、ひなまつりの代表者の皆さん  
方からの、町中に休憩するところが  
ないとか、バス会社からは、食事す

るところもないなどの指摘があり、誰かが何かしなければならぬという事になり、誰もしないという事で、今のところ私の息子の名前で改装した。

高野町長



久万高原町商店街

**問**

道の駅（レストラン）のことでも言ったが、町は町民のためであり、町民を困らすものではないと私は思う。

町長や議員の使命は、町民の福祉の向上にあるので、先ほどの町長の説明では、町民の皆さん方などよく相談なく、自分勝手にやったよう

で、私はおかしいと思う。

次に、当初既存建物を利用したままちなか交流館建築事業は、シロアリの被害が大きく、解体することになったが、6月17日に、247万円プラス消費税で建築業者が落札しているが、その後数回増額され770万支払われている。普通であれば、再入札するべきと思うが、このことについて答弁願いたい。

**答**

お茂ご酒造の解体は、5棟の建物を一括発注する計画であったが、建物の部材等が使用できず、事業変更のため、見直しを余儀なくされた。

その間、県、国から事業が確定するまでは、解体は待てとの指導があった。

町は、9月初旬に建物着工を目標としており、倉庫、建物本体以外の建物から解体を進めなければ、着手が難しいという判断で、倉庫以外の建物を先行発注・入札した。本工事を変更契約で実施した点は、当初から解体工事は敷地の建物全体を一体工事として捉えていた。また、工期内の着手、予定期間に着手したいことから、工事に緊急性があると、変更計画により工事を進めた。

当初の請負金額266万7千円は、2回の変更で、合計770万となったが、設計変更による契約は、町で定めたものは無く、参考になっているのは、国土交通省四国地方整備局が運用している直轄請負工事における設計変更のガイドラインの中の適切な設計変更の必要性の項目で、「変更請負金額が請負金額の30%を超える場合においても、一体施行の必要性から分離発注出来ないものについては、適切に設計図書の変更、及びこれに伴い必要となる請負代金、または、工期の変更を行う事とする」とされており、これに基づき、変更設計による契約をした。

高橋建設課長

**問**

町民の声があるが、業者に請け負わせた金額が3倍近い金額になったというのは、誰が考えてもおかしい。四国整備局がどうこうは別にして、こういうことは2度とないようにして欲しい。

町の実質公債比率は14%になり、実質収支比率も8%と町財政は大変厳しく、また、町の人口は高齢化率45・6%で、10年後には4000人を切るとも言われている。

高野町長が町長になってから、多

くの議員が、一般質問をしてきた。主なものは、高齢者の足の問題、買い物や通院問題、人工透析の問題、障害者の点字ブロックの問題や国道の生協からコーナンまでの歩道のバリアフリー化、この問題は特にやりたいと言っていたができていない。

このような時代、まちなか交流館は高齢者福祉館にしてはどうか。道の駅と商店街の連携をと、町長は常に言っているが、商店街とはどういうところを指すのか。どういう種類の商店が何軒あって、どれだけの売り上げがあり、どれだけの来客があるかも調査なしで、町より年間1500万の補助金が商店街に出ているがこれは全て町民の血税だ。そういうことで、まちなか交流館は、高齢者福祉館にしてはどうか。

**答**

交流館事業は、3月議会や全員協議会等で再々説明している。交流館の内容、今後の問題、人件費の問題等説明しているので、高齢者福祉館は、福祉につながり、いい意味もあるが、このことは3月議会で計画し前向きに進んでいる事業なので、変えるとかは考えていない。また、議員より一般質問、相当出ているが、透析問題、上黒岩岩陰遺

跡等早速できる問題ではない。

透析問題も、2年前から10人乗りのバス2台導入し、患者を無料送迎している。また、透析問題は、医者・看護師問題、施設問題等を今、研究しているところだ。

上黒岩岩陰遺跡問題は、上岡議員や高橋議員の一般質問を踏まえ、専門学芸員を募集雇用し、教育委員会内で慶應義塾大学などの大学と交渉しながら前向きに進めている。

ただ、バリアフリーや点字ブロック問題は弱者の皆さんのため取り組んでいかなければならず、国交省問題や町道の信号問題、用地問題等今、早急な課題と考えているところだ。

高野町長

**問**

最近の町の事業をしてみると、旧久万町内の都市計画区域内に限られ、かかし祭りとかおひな祭りであったりしている。3村1町の合併は本庁方式の対等合併であるが、一緒にいろいろなことをやってもらいたいというのが、町民の声だと思ふ。

**答**

久万高原町全体を網羅して、街づくりをしている。ただ、

おひなさんとかこけしとかの事業は、旧町商店街が一番最適だろうということと、道の駅の冬のお客さん獲得の観点から、計画をした。

高野町長

**道の駅「天空の郷さんさん」の複式簿記による決算書は**

**問**

平成26年4月にオープンした道の駅「天空の郷さんさん」の決算書は、議員はもとより町民の皆さんが見てもわかりやすい、複式簿記によるべきと言っているが、しっかりとした決算書が出ていないと考えるがどうか。

**答**

道の駅は、久万高原町のすぐれた資源を全国に広報するとともに、地域間の様々な交流事業、町おこし事業の農・商・工が連携して展開する地域活性化の拠点となることを目的として整備した。

農産物直売所、レストラン、パン工房、地域食材即売所（よもぎや・でんこ）、地域情報提供室、防災センター、イベント広場等の整備費は、用地費、敷地造成費、周辺の道路整

備等で、合計で9億2500万円だ。財源は、国の補助金が2億9200万円、起債が3億7100万円、基金や土地の売却収入が1億7500万円、一般財源が8700万円だ。

決算は、道の駅運営協議会、決算特別委員会で審議し、議員全員協議会にも報告している。一般会計で経理しているが、企業会計に置き換え複式簿記で整理し、損益計算書や貸借対照表等も示している。

高野町長

**問**

道の駅に120万人がきたが、売り上げは3億7000万ぐらいしかない。売り場面積や品ぞろえが適正であれば、もっと売り上げがあったと思うが、複式簿記の決算書は出したのか伺いたい。

**答**

最終的に、先の決算特別委員会及び全協での報告書が複式簿記での決算書と認知している。

中川企画観光課長

**問**

町長は、道の駅について当初3年間は直営で、あとは指定管理委託で行う計画だと言っていたが、前回の中野議員の一般質問に、未定だと答弁したがどうということな

のか。

**答**

当初3年後を目標に指定管理の方向で考えていたが、売り場面積、商品管理の問題等まだまだ1年ではわからないこともある。3年間で充実した道の駅にするのが使命であるが、ただ、3年間で道の駅が前向きに進むのかわからない状態で指定管理に出すのはどうかと思う。

高野町長

**答**

町長の思いは、3年間の中で議員と相談し指定管理を目標としていると認識しているが、3年たてば即指定管理の決断ができるかは、それまでの経営状態等を分析し、議員の皆さん方と協議していきたいということだと思ふ。

高橋副町長

# 個人番号 マイナンバー 詐欺サギに ご注意!!

こんな手口で  
あなたを狙っています

あなたのマイナンバーが  
漏れている!

あなたのマイナンバー  
教えて?

あなたのマイナンバーを  
守るためにお金が必要!

こんな  
電話や  
訪問には  
ぜったい  
答えちゃ  
ダメ!!



あなたのマイナンバーの  
手続きで訪問!

あなたの生年月日、年金番号、  
口座番号を教えて?

## アンケートにお答えください。

該当する□に✓でチェックして下さい (例 ✓男)

- 性別  男  女
- 年齢  20以下  20代  30代  40代  
 50代  60代  70以上
- 住所  旧久万町  旧面河村  
 旧美川村  旧柳谷村
- 「議会だより」について (複数回答可)  
 誌面が見にくい  内容がわかりづらい  
 議会活動が伝わりにくい  
 必要がない  
その他 ( )
- その他 何でもご意見があれば、記入して下さい。

裏面のご意見記入欄もご利用して下さい。

## アンケートにお答えください。

議会だより、議会報告会についてのご意見をお寄せいただくために今回、左の葉書を用意しました。チェックして、記入して、切り取って送っていただくだけです。ご協力よろしくお願ひいたします。

「その他 何でもご意見があれば、記入して下さい」の欄は、裏面16ページにもスペースがありますのでご利用下さい。



議会だよりに  
○○なコーナーが  
あればなあ～

議会報告会で  
あんな事  
聞きたいなあ～

議会だより  
こうすればもっと  
見やすいのに!

# 議会を傍聴しませんか?!

3月定例会(予定)	3月 10日(木)	開会日・一般質問等
	3月 11日(金)	本会議
	3月 14日(月)	総務文教厚生常任委員会
	3月 15日(火)	産業建設常任委員会
	3月 18日(金)	閉会日

本会議も常任委員会も傍聴できます!

問い合わせ先 久万高原町議会事務局 TEL・FAX0892-21-0134

## 議会だより・議会報告会についてのご意見ありませんか?

ご意見等の送付先(郵便又はFAX)

久万高原町 議会事務局 宛  
住所 久万高原町久万188  
FAX 0892-21-0134

※ご意見等には御住所、御氏名を明記してください。

今回は下のハガキを用意しました。

裏面(15P)のアンケートにお答えいただくとともにご意見等お寄せ下さい。



穏やかな年末年始を過ごせたと思いきや、突然の大雪となりました。除雪等で日常生活に支障をきたされた方も多数おられたと思います。改めて、自然の力の大きさを感じました。

今回の大雪は、もとより、大雨等の自然災害に際しては、高齢化の進む当町においては、他の自治体とは違うきめ細やかな対策も必要なのではと考えさせられました。

(中野)

### 編集後記

料金受取人払郵便

松山南局  
承認

129

差出有効期限  
平成28年3月  
31日まで  
(切手を貼らずに  
ご投函ください)

キリトリ線  
Post card

7911190

久万高原町久万188  
久万高原町議会事務局内  
久万高原町議会会報  
特別委員会 宛

キリトリ線

### 久万高原町議会だより

第8号 平成28年2月19日

発行/久万高原町議会  
愛媛県上浮穴郡久万高原町久万188  
発行責任者/町議会議長 高橋 末廣  
編集/議会広報特別委員会  
TEL 0892(21)0134 FAX 0892(21)0134  
印刷/明星印刷工業株式会社

ご意見記入欄

